

# OSAKA

The 146th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

## 日本薬学会 第146年会 併催展示会

### 出展のご案内 (医薬品)

会期

2026年

3月27日(金)～29日(日)

会場

関西大学 千里山キャンパス

#### <併催展示会内容>

薬科機器・医薬品・文献情報検索システム・書籍



日本薬科機器協会  
<http://www.nyk.gr.jp/>



日本薬科機器協会  
ホームページQRコード

# 出 展 案 内 目 次

---

□ 日本薬学会 第 146 年会組織委員長ご挨拶 . . . . . 2 頁

□ 展示募集要項 . . . . . 4 頁

□ 前回出展状況(参考) . . . . . 8 頁

□ 前回開催状況(参考) . . . . . 9 頁

□ 展示申込書提出方法について . . . . . 10 頁

□ 展示申込書 . . . . . 別紙 1

## ファーマシンフォニーが奏でる未来 ～やってみいひん？薬学イノベーション！～

日本薬学会第 146 年会  
組織委員長 小比賀 聡  
(日本薬学会副会頭、大阪大学教授)

### はじめに

日本薬学会第 146 年会を、2026 年 3 月 26 日(木)から 29 日(日)までの 4 日間、関西大学千里山キャンパス(大阪府吹田市)を主会場として開催いたします。

関西地区での開催は、第 140 年会(京都)が新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催中止となったことから、第 135 年会(神戸)以来、11 年ぶりとなります。大阪大学薬学部が中心となり関西大学とともに組織委員会を設立し、運営を担当させていただきます。

日本薬学会年会は、日本の薬学関係者が一堂に会する最大規模の学術集会で、大学で教育・研究に携わる者、企業で医薬品の研究・開発に携わる者、病院や薬局で医薬品の適正使用を推進する者、行政の立場から医薬品の有効性・安全性の確保に努める者、さらに、将来の薬学および関連領域を担う大学院生・学部生など、8,000 名近くの参加者が見込まれます。

薬学は、物理系、化学系、生物系、医療系、臨床系などの多様な学問の力を必要とする総合科学です。また、昨今の薬学をとりまく様々な課題を克服していくためには、従来の垣根を超えた異分野連携が一層重要となっています。幅広い学術領域の研究者が一堂に会し議論を深めることで、異分野連携が一段と進み、新たなイノベーション創出に繋がることを願い、今回の第 146 年会では「ファーマシンフォニーが奏でる未来 ～やってみいひん？薬学イノベーション！～」をテーマとして設定しました。

## 日本薬学会第 146 年会の概要

日本薬学会第 146 年会では、ノーベル賞受賞者の講演を含む特別講演 16 件（海外 4 件、国内 12 件予定）、シンポジウム約 90 件（理事会企画、組織委員会企画、一般、および大学院生シンポジウム）と一般学術発表（口頭、およびポスター発表）を行います。一般学術発表の演題登録は 11 月末に締め切られますが、第 146 年会においては、約 1,200 題の一般口頭発表と約 2,400 題のポスター発表を見込んでいます。シンポジウムでは、日本薬学会が企画する国際連携シンポジウムや、ダイバーシティの取り組みに関するシンポジウム、他学会とのジョイントシンポジウムや年会組織委員会の企画シンポジウムなどが予定されています。医療現場の薬剤師の皆様にもご参加いただきやすいよう週末（土日）を含めた会期設定となっています。また、高校生を対象とした高校生サイエンスフェスタという新たな企画も行う予定です。3 月 29 日（日）に関西大学ソシオ AV 大ホールにて開催される市民公開講座（無料）では、講師に中山直樹先生（環境省水大気環境局海洋プラスチック汚染対策室室長）、鈴木剛先生（国立環境研究所資源循環領域室長）、高田秀重先生（東京農工大学農学部教授）をお招きし、「SDGs を感じ、考える ～マイクロプラスチック問題とは？ その現状と今後～」のメインテーマのもと講演していただきます。市民を対象とした講演会を通じて地域住民の皆様に、環境問題について、改めて考えていただくきっかけとなることを期待しています。

## 薬科機器展示会とその会場

薬科機器展示会は、関西大学の第 2 学舎、第 4 学舎、凜風館および新関西大学会館北棟で実施いたします。第 2 学舎、第 4 学舎、凜風館は薬学会会場の中央に位置する利便性の高い場所であり、展示会場をポスター会場と併設するかたちで設置いたします。また、新関西大学会館北棟は正門に最も近い位置にあり、展示会場を参加者の大部分が訪問するクロークの手前に設けます。あわせて、展示会場内ではドリンクの配布も予定されており、多くの参加者が展示会場を訪れるものと期待しています。

薬科機器展示会場では、薬科機器、新薬情報、文献情報システム、書籍等の展示などを予定しており、多くの研究者や薬剤師の皆さまに最先端の機器や新薬などに触れていただくとともに、新刊書籍や文献などの最新情報を収集していただけたと思います。

## 結びにかえて

日本薬学会年会は、日本の薬学関係者が一堂に会する学術集会です。医薬品を取り巻く幅広い分野から多くの参加者が集結いたします。創薬研究においては最先端の分析・測定機器が必須であり、医療現場では最新の調剤・包装機器が必要とされます。そして、創薬・医療・薬学教育の全ての場において、最新の情報収集・解析システムが求められています。本年会が、参加者の皆様と機器展示にご協力いただきました企業の皆様にとりまして、有意義な場になることを切に願っております。

## 1. 開催要項

- 名 称：日本薬学会第 146 年会 併催展示会
- 会 期：2026 年(令和 8 年) 3 月 26 日(木)～ 29 日(日)
- 会 場：関西大学 千里山キャンパス  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号 TEL：06-6368-1121 (大代表)
- 主 催：日本薬科機器協会
- 後 援：日本薬学会
- 学会テーマ：ファーマシンフォニーが奏でる未来 ～やってみいひん？薬学イノベーション！～
- 組織委員長：小比賀 聡 先生(大阪大学大学院薬学研究科)
- 来 場 者：薬学系大学、製薬関連企業研究所・工場、国公私立研究機関、  
病院薬剤部、開業調剤薬局、卸等の日本薬学会会員(約 7,500 人)

## 2. 出展申込要項

### (1) 小間仕様

#### 医薬品展示

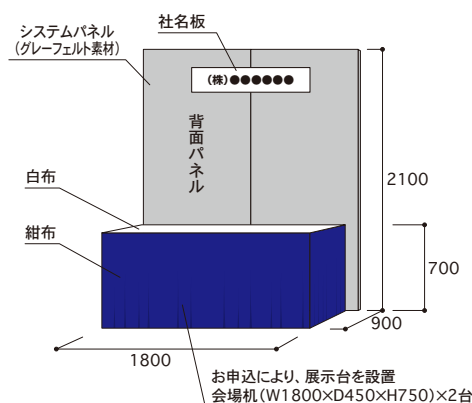
##### ■小間サイズ

間口 1800mm×奥行き 900mm×高さ 2100mm

※通路をはさんで並列で向かい合わせ希望の場合は、片側 5 小間以上、  
合計 10 小間以上を原則とします。

##### ■小間設備

- ・背面パネル(システムパネル(W1,800×H2,100))  
※小間の境目に袖パネルを取り付けません。
- ・社名板(W900×H200 統一書体での黒色書き・日英併記)  
※指定ロゴを使用したい場合は別途有料でお作りします。  
株式会社は(株)など略称表記となります。



##### ■展示台(W1800×D900×H700 天板白布、腰紺布つき)を無料で

ご用意いたします。「展示申込書」にて展示台の有無および台数を申し込んでください。

※ご用意できる展示台の耐荷重は 70kg 以下です。

これ以上の重量の出展製品がある場合は、出展社様にて展示台のご用意をお願いいたします。

以上の仕様を事務局にて設置いたします。

上記以外については各出展社にて行ってください。

##### ■電気について

- (1) 提出していただいた申込書の所要量に応じた幹線工事(一次配線工事)を小間の後壁まで行います。
- (2) 必要コンセント等の小間内配線(二次配線工事)は、それぞれ、申込書にご記入の上お申し込みください。
- (3) 一次・二次配線工事費、並びに消費電力料は、後日別途請求いたします。(出展社負担)
- (4) 通夜送電はできません。
- (5) 単相 100V・200V の区別を明確に記入してください。

##### ■その他ご要望がある場合は「展示申込書」の要望欄にご記入下さい。

例：社名板指定ロゴ、商談用椅子(有料)

## 出展に関する注意

今年会の会場は、関西大学千里山キャンパスです。  
併催展示会も同会場にて行われますが、分散会場となります。  
また、従来の日本薬学会年会とは以下の点で異なります。ご注意ください。

1. スペース小間の出展は出来ません。(基礎小間出展のみ)
2. 小間の位置(どの校舎になるか)については展示会事務局にご一任ください。
3. 会場スペースに限りがあるため、複数小間をお申込みいただいても縮小をお願いする可能性があります。
4. お申し込み状況、会場の都合により出展をお断りする可能性があります。
5. 大学校舎を使用するため、搬入搬出に制約があります。(大型機器が入らない等々)  
→詳細は後日「出展マニュアル」にて案内いたします。
6. 「ワークショップ」、「新技術・新製品セミナー」は募集いたしません。(会場が確保できないため)
7. 出展社交交流会は開催いたしません。

## (2) 展示出展料

【1 小間あたり】 **税別 220,000 円** (税込 242,000 円)

## (3) お申込方法・締切

電子メールによる申し込みとホームページによる申し込み、二通りの方法がございます。(P10-P11 参照)

なお、締切日は **2025 年 11 月 21 日(金)** です。

※スペースに限りがございますので定数になり次第締め切りと致します。

## (4) キャンセル料について

出展社の都合による出展申し込みの取消しは、原則としてできません。  
但し、やむなく取消しを行なう場合は文書にて事情を明記し、日本薬科機器協会の承認を受けてください。  
この場合、以下のようなキャンセル料をお支払い願います。

開催 2 ヶ月前まで：出展料の 30 %

開催 2 ヶ月前以降：出展料の 100 %

## (5) ご 請 求

出展料は、お申込締切日より約 1 ヶ月後にお送りする請求書記載の指定銀行口座にお振り込みください。  
電機関係及びオプション料(使用した場合のみ)は、展示会終了後に別途請求いたします。

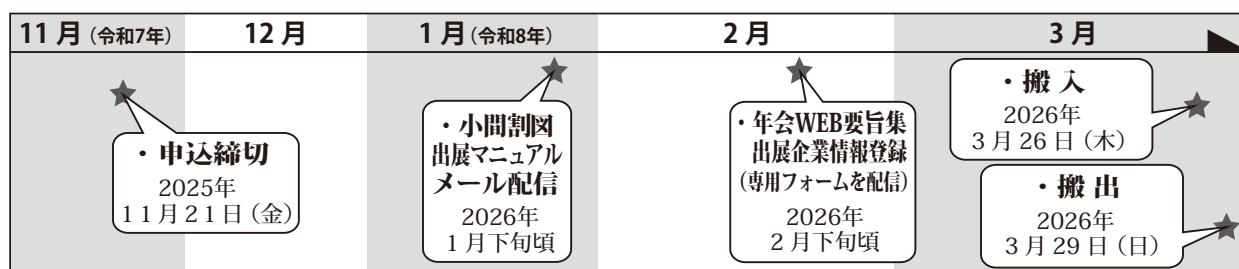
## (6) 年会 WEB 要旨集 (スマホアプリ) の作成

来場者の皆様に展示品を広く認知していただくために「年会 WEB 要旨集 (スマホアプリ)」に出展企業情報を掲載し、広報いたします。

各社の社名 (日英併記)、出展製品、住所、連絡先 (TEL・FAX・URL) 等を掲載し、参加者が年会会場内にてスマホアプリで検索できるようになります。

後日、専用フォームを配信しますので、展示申込書の項目に従って掲載したい情報をお間違いないようにご記入ください。

## 3. 開催までのスケジュール



※ 搬入・搬出に関する詳細は、申込締め切りの後に「出展マニュアル」、「小間割図」にてお知らせいたします。

## 4. 出展に関する注意事項・禁止事項

### (1) 展示品の輸送

下記運輸会社と一括輸送を特約しておりますので、ご希望の方は、直接同社へお申し込みください。同社が一括して引き受けますが、運送料については、各社で直接お申し込みください。

富島海運 株式会社 (橋本政宏) 〒136-0082 東京都江東区新木場 1-8-17  
電話：03-3521-8011 FAX：03-3521-8016 E-mail：hashimoto@tomijimakaiun.com

### (2) 展示品の受取り、管理

輸送された展示品の受け取り、管理は、展示する会社が必ず会場に係員を派遣して当たってください。  
防犯上の点から、展示品を会場へ直送されても、事務局や会場による代理受取りはいたしません。  
事故防止のため、時間外の会場への立ち入りは禁止いたします。

### (3) 保険契約

事故防止には最善を尽くしますが、盗難、火災、災害等の損害に対しては一切責任を負いません。  
各社で保険契約をしていただくようお願い致します。

### (4) 小間の譲渡・貸与・相互交換の禁止

出展社は割り当てられた小間の全部又は一部を、有償無償を問わず第三者に譲渡、貸与もしくは、相互交換する事はできません。

## (5) 展示期間中の禁止・制限事項

### 【通路使用禁止】

出展社の展示、装飾、印刷物の配布等は、すべて自社小間内で行うものとします。自社スペースをはみ出した受付台・机・いす等の設置、通路部分へのカーペットの敷設、通路での印刷物の配布等は一切禁止いたします。また、カタログ等の保管スペースは、各小間内に確保してください。

### 【音響装置と音量規制】

(1) 小間内のマイク用スピーカーは、内側に向けて設置してください。

(2) マイクの音量は、常識の範囲内（小間前面2m、高さ1mで計測して70ホン以下とする。）で極力制限すること。なお70ホン以下でも近隣の出展社よりクレームがあった場合、事務局の指示に従い、直ちに音量を下げてください。

### 【給排水、ガスについて】

給排水、ガスなどは使用できません。なお、水を使用される方は、ポリバケツ等をご用意ください。

### 【終了時間と撤収について】

展示会の終了時間を厳守し、終了前に片付け始めることのないようにしてください。

## (6) 不可抗力による開催変更・中止等の免責

主催者は、不可抗力または、やむを得ない事情により、会期・開催時間の変更、または開催を中止する場合があります。中止の場合は、出展料は返金致しますが準備に要した費用は、申込み小間数に応じて、出展社にご負担頂く場合がございますのでご了承ください。

## (7) コロナウイルス感染症の対応

展示会場のコロナウイルス感染症対応につきましては安心・安全を心がけた運営を致します。詳細は後日出展申込各社に配信予定の「出展マニュアル」をご参照下さい。

### 申込先・問い合わせ先

日本薬科機器協会 展示会事務局  
〒983-0024 宮城県仙台市宮城野区鶴巻1丁目22番63号  
TEL：022-388-6151 E-mail：tenji@nyk.gr.jp

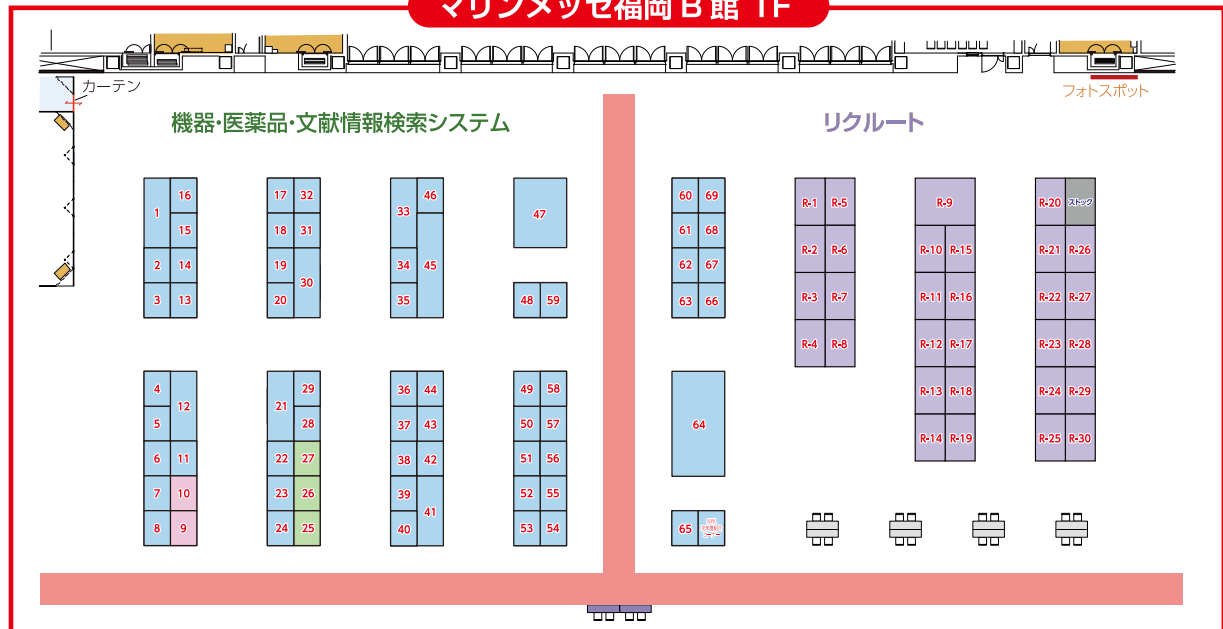
# 前回出展状況(参考)

The Exhibition at The 146th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

## 日本薬学会第 145 年会 併催展示会

- 会場：マリンメッセ福岡 B 館、  
福岡国際会議場 5F  
■展示規模：93 社 / 111 小間、リクルート 31 病院

### ■会場全体構成



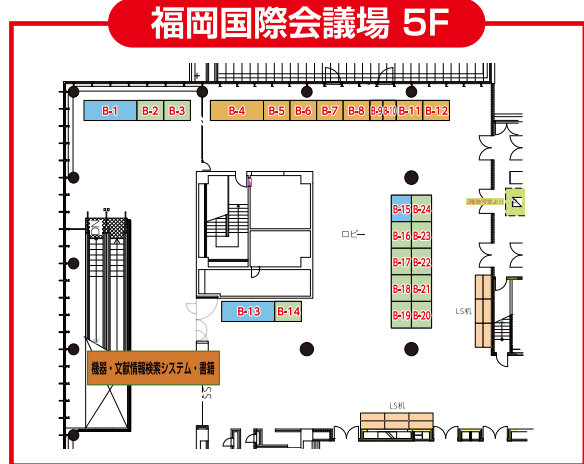
### 出展社一覧 (50 音順、敬称略)

| 機 器 |                                                                                                       |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | メル ク (株)<br>Merck Ltd., Japan                                                                         |
| 2   | ティー・エイ・インストゥルメント・ジャパン (株)<br>TA Instruments Japan Inc.                                                |
| 3   | 株式会社スクリーンホールディングス<br>SCREEN HOLDINGS CO., LTD.                                                        |
| 4   | 日本リテイルシステム (株)<br>JAPAN RETAIL SYSTEM CO., LTD.                                                       |
| 5   | 富士シリシア化学 (株)<br>FUJISILISIA CHEMICAL LTD.                                                             |
| 6   | 北海道システムサイエンス (株)<br>Hokkaido System Science Co., Ltd.                                                 |
| 7   | 株式会社クロマニクテクノロジー<br>Chromafix Technologies Inc.                                                        |
| 8   | ハリオサイエンス (株)<br>HARIO SCIENCE CO., LTD.                                                               |
| 11  | 大塚製薬 / CIL<br>Cambridge Isotope Laboratories, Inc.                                                    |
| 12  | (株)島津製作所<br>SHIMADZU CORPORATION                                                                      |
| 13  | (株)生物技研<br>Bioengineering Lab. Co., Ltd.                                                              |
| 14  | (株)セルシード<br>CellSeed Inc.                                                                             |
| 15  | (株) Q T n e t<br>QTnet, Inc.                                                                          |
| 16  | キーストンサイエティフィック (株)<br>Keystone Scientific K.K.                                                        |
| 17  | (株) ヤマト<br>Yamato Co., Ltd.                                                                           |
| 18  | イカジャパン (株)<br>IKA Japan K.K.                                                                          |
| 19  | (株) WuXi AppTec Japan<br>Wuxi AppTec Japan Co., Ltd.                                                  |
| 20  | ウエバジェネクス (株) 江川カウター事務所<br>Webajenex K.K.                                                              |
| 21  | ロンザ (株)<br>Lonza K.K.                                                                                 |
| 22  | ICE Bioscience Inc.                                                                                   |
| 23  | (株) バイオクロマト<br>Hudred medical Inc.                                                                    |
| 24  | 株式会社バッドメテカ / 株式会社スターボ<br>Hudred medical Inc.                                                          |
| 28  | (株) ケー・エー・シー<br>KAC Co., Ltd.                                                                         |
| 29  | Diener Precision Pumps<br>ディナークレシジョンポンプ                                                               |
| 30  | EYELA 東京理化学工業 (株)<br>TOKYO RIKAKAGAKI CO., LTD.                                                       |
| 31  | (株) 旭製作所<br>Asahi Glassplant Inc.                                                                     |
| 32  | アズワン (株)<br>ASONE CORPORATION                                                                         |
| 33  | 三井不動産 (株)<br>Mitsui Fudosan Co., Ltd.                                                                 |
| 34  | 水のオルガノ<br>ORGANO CORPORATION                                                                          |
| 35  | (一財) 化学物質評価研究機構<br>CFRI                                                                               |
| 36  | 日本ベクトンディキンソン (株)<br>Nippon Becton Dickinson Company, Ltd.                                             |
| 37  | 日本ゼオン (株)<br>ZEON CORPORATION                                                                         |
| 38  | 浜松ホトニクス (株)<br>HAMAMATSU PHOTONICS K.K.                                                               |
| 39  | (株) シン キー<br>THINKY CORPORATION                                                                       |
| 40  | エムアイケミカル (株)<br>MI CHEMICAL CO., LTD.                                                                 |
| 41  | (株) タカソノ<br>Takazono Corporation                                                                      |
| 42  | (株) スクラム<br>SCRUM Inc.                                                                                |
| 43  | (株) ワイエムシィ<br>YMC CO., LTD.                                                                           |
| 44  | 山 善 (株)<br>Yamazen Corporation                                                                        |
| 45  | (株) ダイセル<br>DAICEL CORPORATION                                                                        |
| 46  | (株) イーシーフロンティア<br>EC frontier co., LTD.                                                               |
| 47  | (株) トーショー<br>TOSHIO Inc.                                                                              |
| 48  | 株式会社日立ハイテク / 株式会社日立ハイテクサイエンス<br>Hitachi High-Tech Corporation / Hitachi High-Tech Science Corporation |
| 49  | (株) 大日本精機<br>DANIPPON SEIKI CO., LTD.                                                                 |
| 50  | ジーエルサイエンス (株)<br>GI Sciences Inc.                                                                     |
| 51  | (株) D F C<br>DFC Co., Ltd.                                                                            |
| 52  | (株) 堀場製作所<br>HORIBA, Ltd.                                                                             |
| 53  | 富山産業 (株)<br>Toyama Sangyo Co., Ltd.                                                                   |
| 54  | (株) リガク<br>Rigaku Corporation                                                                         |
| 55  | ザルトリウス・ジャパン (株)<br>Sartorius Japan K.K.                                                               |
| 56  | (株) ケー・エス・エフ・ジャパン<br>KNF Japan Co., Ltd.                                                              |
| 57  | コホト・生体材料支援プラットフォーム<br>Platform of Supporting Corrosion Study and Biospecimen Analysis                 |
| 58  | エビス電子 (株)<br>EBISU electronics co., LTD.                                                              |
| 59  | 大塚電子 (株)<br>Otsuka Electronics Co., Ltd.                                                              |
| 60  | 東京化成工業 (株)<br>TOKYO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.                                                       |
| 61  | フィジオマキナ (株)<br>PHYSIO MCKINA Co., Ltd.                                                                |

|      |                                            |
|------|--------------------------------------------|
| 62   | 東 ソ ー (株)<br>Toesho Corporation            |
| 63   | (株) シンファクトリー<br>SHINFACOTRY CO., LTD.      |
| 64   | (株) 湯山製作所<br>YUYAMA MFG. CO., LTD.         |
| 65   | サカセ化学工業 (株)<br>Sakasase Chemical Co., Ltd. |
| 66   | (株) MORESCO<br>MORESCO Corporation         |
| 67   | 日本分光 (株)<br>JASCO Corporation              |
| 68   | Biortus Biosciens Co., Ltd.                |
| 69   | 日本電子 (株)<br>JEOL Ltd.                      |
| B-1  | (株) メル シ ー<br>Merck Co., Ltd.              |
| B-13 | 東洋羽毛九州販売 (株)<br>TOYOHIMOKYUSHUHANSAI       |
| B-15 | Vip グローバル<br>VIP GLOBAL CO., LTD.          |

| 医 薬 品 |                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------|
| 9     | キユービー (株)<br>Kuepke Corporation                         |
| 10    | (株) 薬物安全性試験センター<br>Drug Safety Testing Center Co., Ltd. |

| 書 籍  |                                               |
|------|-----------------------------------------------|
| B-4  | (株) 東京化学同人<br>TOKYO KAGAKU DOZIN CO., LTD.    |
| B-5  | JoVE / USACO<br>Jove Academy Corporation      |
| B-6  | 薬学セミナー<br>Igaraku Academy Co., Ltd.           |
| B-7  | (株) 科学新聞社<br>The Science News Ltd.            |
| B-8  | 内閣府食品安全委員会<br>Food Safety Commission of Japan |
| B-9  | (株) 薬事日報社<br>Yakuri Nippo, LTD.               |
| B-10 | (株) 化学同人<br>Kagaku-Doin                       |
| B-11 | (株) メジカルビュー社<br>MEDICALVIEW                   |
| B-12 | (一社) 日本試薬協会<br>Japan Reagent Association      |



| 文 献 情 報 検 索 シ ス テ ム |                                                                                            |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 25                  | (株) アフィニティサイエンス<br>Affinity Science Corp.                                                  |
| 26                  | Wavefunction, Inc.<br>Wavefunction, Inc.                                                   |
| 27                  | 駿台グループエスエイティー<br>SAT                                                                       |
| B-2                 | C A S                                                                                      |
| B-3                 | (公財) MR 認定センター<br>MR Educator & Accreditation Center of Japan                              |
| B-14                | Noster (株)<br>Noster Inc.                                                                  |
| B-16                | (株) Preferred Networks<br>Preferred Networks, Inc.                                         |
| B-17                | (株) モルシス<br>MOLSYS Inc.                                                                    |
| B-18                | 中央薬学研究所 (AMED) 生体分子情報科学研究センター (J-NOS)<br>Japan Agency for Medical Research and Development |
| B-19                | DeSCヘルスケア (株)<br>DeSC Healthcare, Inc.                                                     |
| B-20                | コンプレックス (株)<br>CONPLEX Corporation                                                         |
| B-21                | MDPI                                                                                       |
| B-22                | シュレーディンガー (株)<br>Schrodinger K.K.                                                          |
| B-23                | ターニティ・ジャパン (株)<br>Turnitin Japan LLC                                                       |
| B-24                | クロムソードジャパン (株)<br>ChromSword Japan Co., Ltd.                                               |

| リ ク ル ー ト |                                                                                              |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| R-1       | 独立行政法人国立病院機構 (NHO)<br>National Hospital Organization                                         |
| R-2       | 一般社団法人福岡県病院薬剤師会<br>Fukuoka Society of Hospital Pharmacists                                   |
| R-3       | 沖縄県病院薬剤師会<br>Okinawa Society of Hospital Pharmacists                                         |
| R-4       | 長崎県病院薬剤師会<br>Nagasaki Society of Hospital Pharmacists                                        |
| R-4       | 大分県 / 大分県病院薬剤師会<br>Oita Prefecture / Oita University Hospital                                |
| R-5       | 大分大学医学部附属病院<br>Oita University Hospital                                                      |
| R-6       | 九州大学病院<br>Kyushu University Hospital                                                         |
| R-7       | 佐賀大学医学部附属病院<br>Saga University Hospital                                                      |
| R-8       | 一般社団法人鹿児島県病院薬剤師会<br>Kagoshima Society of Hospital Pharmacists                                |
| R-9       | 一般社団法人日本病院薬剤師会<br>Japanese Society of Hospital Pharmacists                                   |
| R-10      | 山形大学医学部附属病院薬部<br>Department of Pharmacy, Yamagata University Hospital                        |
| R-11      | 石川県 / 石川県病院薬剤師会<br>Ishikawa Prefecture / Ishikawa Hospital Pharmacists Association           |
| R-12      | 八雲総合病院<br>Yakumo General Hospital                                                            |
| R-13      | 妙立病院 / 山形県総合病院 妙立病院<br>Mitsudate Hospital / Yamagata Prefectural Hospital Mitsudate Hospital |
| R-14      | 高知県病院薬剤師会<br>Kochi Hospital Pharmacists Association                                          |
| R-15      | 徳洲会グループ<br>Tokushukai Medical Group                                                          |

|      |                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------|
| R-16 | 社会医療法人ベガス馬場記念病院<br>Baba Memorial Hospital                             |
| R-17 | 鳥取大学医学部附属病院<br>Tottori University Hospital                            |
| R-18 | 一般社団法人広島県病院薬剤師会<br>Hiroshima Society of Hospital Pharmacists          |
| R-19 | 岡山県病院薬剤師会<br>Okayama Hospital Pharmacists Association                 |
| R-20 | 公営社団法人 地域医療振興協会<br>Association for Development of Community Medicine  |
| R-21 | 社会医療法人 徳島県立徳島中央病院<br>Tokushima Prefectural Tokushima Central Hospital |
| R-22 | 山梨県立中央病院 / 山梨県立北病院<br>Yamanashi Central Hospital                      |
| R-23 | 亀田メディカルセンター<br>Kameda Medical Center                                  |
| R-24 | 医療法人社団 成 仁<br>Sein Hospital                                           |
| R-25 | 東京大学医学部附属病院薬部<br>Department of Pharmacy, University of Tokyo Hospital |
| R-26 | 東京大学医学部附属病院薬部<br>Department of Pharmacy, University of Tokyo Hospital |
| R-27 | 公営社団法人日本精神科病院協会<br>Japan Psychiatric Hospitals Association            |
| R-28 | 一般社団法人千葉県病院薬剤師会<br>Chiba Society of Hospital Pharmacists              |
| R-29 | 一般社団法人千葉県病院薬剤師会<br>Chiba Society of Hospital Pharmacists              |
| R-30 | 日本赤十字社 (日本赤十字薬部)<br>Japan Red Cross / Japanese Red Cross Society      |

# 前回開催状況(参考)

The Exhibition at The 146th Annual Meeting of the Pharmaceutical Society of Japan

## 新技術・新製品セミナー

| 1日目 3月27日 木                                                                |                                                          | 2日目 3月28日 金                                               |                                                      |
|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| YS-1 10:00 ~ 10:20                                                         | メルク(株)<br>創薬DXシリーズ①: 合成ルート最適化するデジタルツール                   | [テーマ] 高速液体クロマトグラフ並びに周辺機器、及びその他分析機器                        |                                                      |
| YS-2 10:25 ~ 10:45                                                         | メルク(株)<br>創薬DXシリーズ②: ADMET予測を活用するスクリーニング                 | YS-12 10:00 ~ 10:20                                       | (株)クロマニクテクノロジーズ<br>HPLCカラム最前線: 高分離技術からペプチド専用カラムまで    |
| YS-3 10:50 ~ 11:10                                                         | メルク(株)<br>創薬DXシリーズ③: qNMRによる化合物定量プロセスの高速化                | YS-13 10:25 ~ 10:45                                       | (株)クロマニクテクノロジーズ<br>HPLCカラム最前線: 異次元品質のウルトラハイブリッドカラム   |
| YS-4 11:15 ~ 11:35                                                         | (株)島津製作所<br>MSイメージングが切り拓く薬学の未来                           | YS-14 10:50 ~ 11:10                                       | (株)ワイエムシ<br>逆相HPLCによる最新のオリゴ核酸分離例のご紹介                 |
| YS-5 11:40 ~ 12:00                                                         | (株)島津製作所<br>血清遊離脂肪酸を用いた卵巣がん早期診断モデルの開発と社会実装               | YS-15 11:15 ~ 11:35                                       | (株)クロマニクテクノロジーズ<br>C18からHILICもよくある失敗から学ぶLCカラムの基礎     |
| YS-6 13:30 ~ 13:50                                                         | (株)ダイセル<br>常温常圧で使用する不斉合成用酵素試薬・キラルスクリーン*                  | YS-16 11:40 ~ 12:00                                       | (株)ワイエムシ<br>生産性の飛躍的向上を実現した抗体連続精製プロセスの構築              |
| YS-7 13:55 ~ 14:15                                                         | (株)ダイセル<br>「ファーマスタンダード」ニトロソアミン等の合成・分析サービス                | YS-17 13:30 ~ 13:50                                       | (株)ダイセル<br>誰でもわかる速クロキラル分析条件の見つけ方と面白メルマガ紹介            |
| YS-8 14:20 ~ 14:40                                                         | メルク(株)<br>メタボロミクス解析をキット製品で包括的にサポート                       | YS-18 13:55 ~ 14:15                                       | ザルトリウス・ジャパン(株)<br>カラムに代わるアフィニティークロマトグラフィー用製品のご紹介     |
| YS-9 14:45 ~ 15:05                                                         | メルク(株)<br>重水素化医薬品の開発動向とメルクの重水素化合物の供給性                    | [テーマ] 薬学研究に使用されるその他の機器・システム・施設・機材(実験動物用機器、環境調節装置、汎用研究機器等) |                                                      |
| [テーマ] タイオキシ剤・薬毒ホルモン(内分泌かく乱化学物質)、その他特定化学物質等、環境安全・薬毒科学に関する分析機器と環境試料の構築及び処理装置 |                                                          | YS-19 14:20 ~ 14:40                                       | (株)現場製作所<br>【ほんまもん】京都分析会社がカスタマイズする製薬向け製品紹介           |
| YS-10 15:10 ~ 15:30                                                        | (株)SCREENホールディングス<br>汚染管理戦略の新提案(微生物迅速検査装置)PixeeManX      | YS-20 14:45 ~ 15:05                                       | (株)SCREENホールディングス<br>AIを活用したイメージングツールと薬剤感受性試験の可能性    |
| [テーマ] 遺伝子・タンパク質の解析機器(バイオフィーマティクスを含む)とその周辺機器                                |                                                          | YS-21 15:10 ~ 15:30                                       | (株)SCREENホールディングス<br>MEA (MED64システム) による化合物スクリーニング技術 |
| YS-11 15:35 ~ 15:55                                                        | ティー・エイ・エス/クリマト・ジャパン(株)<br>高スループット技術を用いた抗体医薬品の熱安定性スクリーニング | YS-22 15:35 ~ 15:55                                       | (株)ダイセル<br>エクソソームの単離を簡単に! 新しいオールインワン精製システム           |

## ワークショップ

| 1日目 3月27日 木         |                                            |
|---------------------|--------------------------------------------|
| YWS-1 11:00 ~ 11:40 | メルク(株) ご自分のTLCプレートで試しませんか? ~新製品のTLC解析装置    |
| YWS-2 13:00 ~ 14:30 | (株)MORESCO 薬剤の可溶性: 経皮吸収効率を格段に高めるナノエマルジョン技術 |
| 2日目 3月28日 金         |                                            |
| YWS-3 10:30 ~ 11:30 | ハリオサイエンス(株) 実はガラスは液体だった! 意外に知らないガラスの性質     |
| YWS-4 13:00 ~ 14:30 | (株)MORESCO 薬剤の可溶性: 経皮吸収効率を格段に高めるナノエマルジョン技術 |
| YWS-5 15:00 ~ 15:40 | メルク(株) ご自分のTLCプレートで試しませんか? ~新製品のTLC解析装置    |
| 3日目 3月29日 土         |                                            |
| YWS-6 11:00 ~ 11:40 | メルク(株) ご自分のTLCプレートで試しませんか? ~新製品のTLC解析装置    |
| YWS-7 13:30 ~ 15:00 | (株)MORESCO 薬剤の可溶性: 経皮吸収効率を格段に高めるナノエマルジョン技術 |

## 広報・PR 活動

日本薬学会第145年会アプリ(スマホアプリ)に出展企業情報を掲載し、参加者が年会会場内で出展社情報を検索できるようにします。また、年会ホームページなどで来場予定の方々へ広報します。

会場内の協会ブースにて「やげん」「メールマガジン登録」「リクエストコーナー」「展示会情報」「次年度開催コーナー」などの、PRブースを設け広く参加者の皆様に情報の提供を行います。一方、ホームページや「やげん」でも展示会の最新情報を配信します。

### ■日本薬学会第145年会アプリ



### ■日本薬科機器協会ホームページ



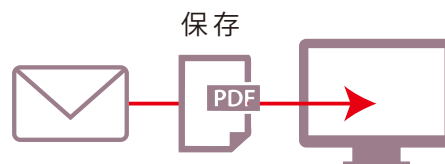
### ■協会誌「やげん」



## 電子メールによる申込（メールに添付した入力フォーム形式）

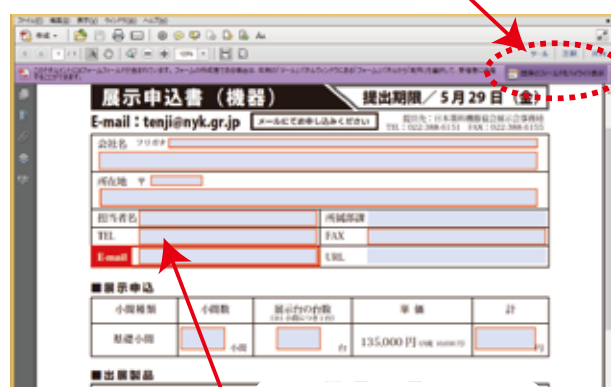
### <入力手順>

- ①メールに添付されている申込書（入力フォーム形式）をご自身のPC（デスクトップ等）に保存してください。



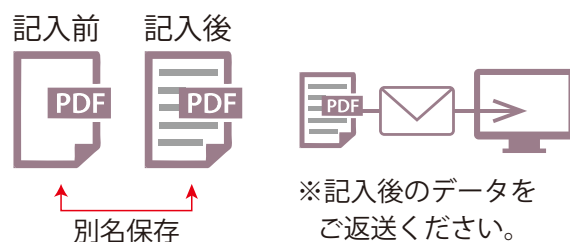
- ②申込書（入力フォーム形式）のPDFを開いていただき、入力フォームに従いましてご入力ください。  
※PDFを開いたとき、1回目は入力箇所がハイライト表示になっていない場合がございます。その際は、画面右上の「既存のフィールドをハイライト表示」をクリックし、色のついた箇所をクリックしてご記入ください。

チェックがついていなければクリック



色がついている箇所をクリックして入力できます

- ③入力が完了しましたら、データを別名で保存していただきファイル名に貴社名を入力して展示会事務局（tenji@nyk.gr.jp）までご返送ください。



ファイル名：医薬品 \_ 日本薬学会第 146 年会 \_ 併催展示会 \_ 出展案内 \_ 展示申込書 \_ <\_\_\_\_>.pdf

ここに貴社名をご入力ください

※記入いただいたデータは印刷し、展示会が終わるまで保管をお願い致します。  
※ご不明な点ご連絡ください。

## ホームページによる申込

### <入力手順>

<http://www.nyk.gr.jp/>

- ① 日本薬科機器協会のホームページにアクセスし、「展示会情報」の中の該当展示会のページを開きます。



- ② 展示会ページ内の一番下にある「出展申込み」より、お申し込みをするカテゴリを選択してください。  
(薬科機器協会正会員の方は、会員ページにログイン後に開いてください)



- ③ 各種項目にしたがって、お申し込み内容を入力してください。

「出展製品」の項目につきましては、展示品のサイズと重量をすべてご入力ください。

空欄だとお申し込みが受理できませんので、ポスターやチラシなどの小型のものにつきましては、「0.1」など小さな数値をご入力いただければ結構です。



- ④ 入力が完了しましたら、一番下の「お申込内容を送信」をクリックしてください。

※確認画面はございませんのでご注意ください。

「〇〇〇〇〇〇への展示申込ありがとうございました。

後日担当よりご連絡いたします。」

と、画面に表示されれば送信完了となります。

入力内容に不備がある場合は再び入力フォームが表示されますので、赤字の記載に従って入力内容を修正してください。

送信後、お申し込みいただいた E-mail アドレスに、

日本薬科機器協会 展示会事務局 (tenji@nyk.gr.jp) より申込受付内容のメールを自動で送信いたします。

※申込受付内容のメールは展示会が終わるまで保管をお願い致します。

※ご不明な点はご連絡ください。

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号  
TEL：06-6368-1121（大代表）



阪急電鉄千里線「関大前」駅下車、すぐ（正門までは徒歩約5分）。

JR「新大阪」駅から地下鉄 Osaka Metro 御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約 30 分）。

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車（この間約30分）。